

---

ファイルサーバ データ峻別ツール

# ecoMinder/FE

Efficient Control of Operations for IT Minder

File Server Expansion

操作マニュアル

---



株式会社日立東日本ソリューションズ  
Hitachi East Japan Solutions

2009 年 11 月版

## 前書き

### ■ 対象製品

ecoMinder/FE Standard Ver.1.0

ecoMinder/FE Client Ver.1.0

### ■ 適用 OS

Windows XP Professional ServicePack2 以降

以降、Windows XP (32-bit)と表記します。

Windows 2000 Professional ServicePack4

Windows 2000 Server ServicePack4

以降、Windows 2000 (32-bit)と表記します。

Windows Server 2003, Standard Edition ServicePack1 以降

Windows Server 2003 R2, Standard Edition

Windows Server 2003, Enterprise Edition ServicePack1 以降

Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition

以降、Windows Server 2003 (32-bit)と表記します。

Windows Server 2008 Standard (x86)

Windows Server 2008 Standard without Hyper-V (x86)

Windows Server 2008 Enterprise (x86)

Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V (x86)

以降、Windows Server 2008 (32-bit)と表記します。

### ■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、使用許諾契約をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

■ 商標類

ecoMinder は株式会社日立東日本ソリューションズの登録商標です。

Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

.NET Framework は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、このマニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 発行

2009 年 11 月

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright © 2009, Hitachi East Japan Solutions, Ltd.

## 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. はじめに .....                   | 5  |
| 1-1. ecoMinder/FE の概要.....      | 5  |
| 1-2. ecoMinder/FE の特徴.....      | 6  |
| 1-3. ecoMinder/FE の用途.....      | 7  |
| 1-4. ecoMinder/FE の機能.....      | 8  |
| 1-5. ecoMinder/FE の製品構成と機能..... | 9  |
| 1-6. システムの前提条件.....             | 10 |
| 1-7. ecoMinder/FE 利用上の制限事項..... | 11 |
| 2. 操作のながれ.....                  | 12 |
| 3. 画面のレイアウト.....                | 13 |
| 4. 基本設定 .....                   | 14 |
| 4-1. 基本設定について.....              | 14 |
| 4-2. 高度な設定について.....             | 15 |
| 4-3. 分析データベースの保存先について.....      | 16 |
| 4-4. 分析データベースの設定.....           | 17 |
| 4-5. 基本設定の保存.....               | 18 |
| 5. 移動設定 .....                   | 19 |
| 5-1. 移動設定について.....              | 19 |
| 5-2. 移動設定の設定項目について.....         | 20 |
| 5-3. 各項目の設定.....                | 20 |
| 5-3-1. 設定の指定.....               | 20 |
| 5-3-2. 設定の無効化.....              | 21 |
| 5-3-3. 対象フォルダの設定.....           | 21 |
| 5-3-4. 保管フォルダの設定.....           | 22 |
| 5-3-5. 対象ファイルサイズの設定.....        | 23 |
| 5-3-6. 保管フォルダの上限容量の設定.....      | 23 |
| 5-3-7. 動作条件の設定.....             | 24 |
| 5-4. 高度な設定について.....             | 25 |
| 5-5. 高度な設定の設定項目について.....        | 26 |
| 5-6. 高度な設定の各項目.....             | 26 |
| 5-6-1. ファイルの移動方式の設定.....        | 26 |
| 5-6-2. ファイルの自動復元の設定.....        | 29 |
| 5-6-3. 対象拡張子の設定.....            | 30 |

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 5-6-4. 圧縮ファイルの設定.....        | 33 |
| 5-7. 移動設定の保存.....            | 36 |
| 6. 分析 .....                  | 37 |
| 7. シミュレーション.....             | 38 |
| 7-1. シミュレーションについて.....       | 38 |
| 7-2. シミュレーションの開始.....        | 39 |
| 7-3. シミュレーション結果の表示.....      | 39 |
| 7-4. 条件日時の変更.....            | 40 |
| 8. 実行 .....                  | 41 |
| 8-1. 実行について.....             | 41 |
| 8-2. スケジュールの設定.....          | 42 |
| 8-3. 実行スケジュールの保存.....        | 43 |
| 9. 整理 [Standard 版のみ].....    | 44 |
| 9-1. 整理について.....             | 44 |
| 9-2. 高度な設定について.....          | 45 |
| 9-3. ファイル整理の方法について.....      | 46 |
| 10. レポート [Standard 版のみ]..... | 48 |
| 10-1. レポートについて.....          | 48 |
| 10-2. 高度な設定について.....         | 49 |
| 10-3. 出力できるレポートについて.....     | 50 |
| 10-4. レポートに出力される項目について.....  | 51 |
| 11. ライセンス.....               | 60 |
| 11-1. ライセンスについて.....         | 60 |
| 11-2. ライセンスの登録.....          | 61 |
| 12. サマリー.....                | 62 |
| 13. サポートページのご案内.....         | 63 |

## 1. はじめに

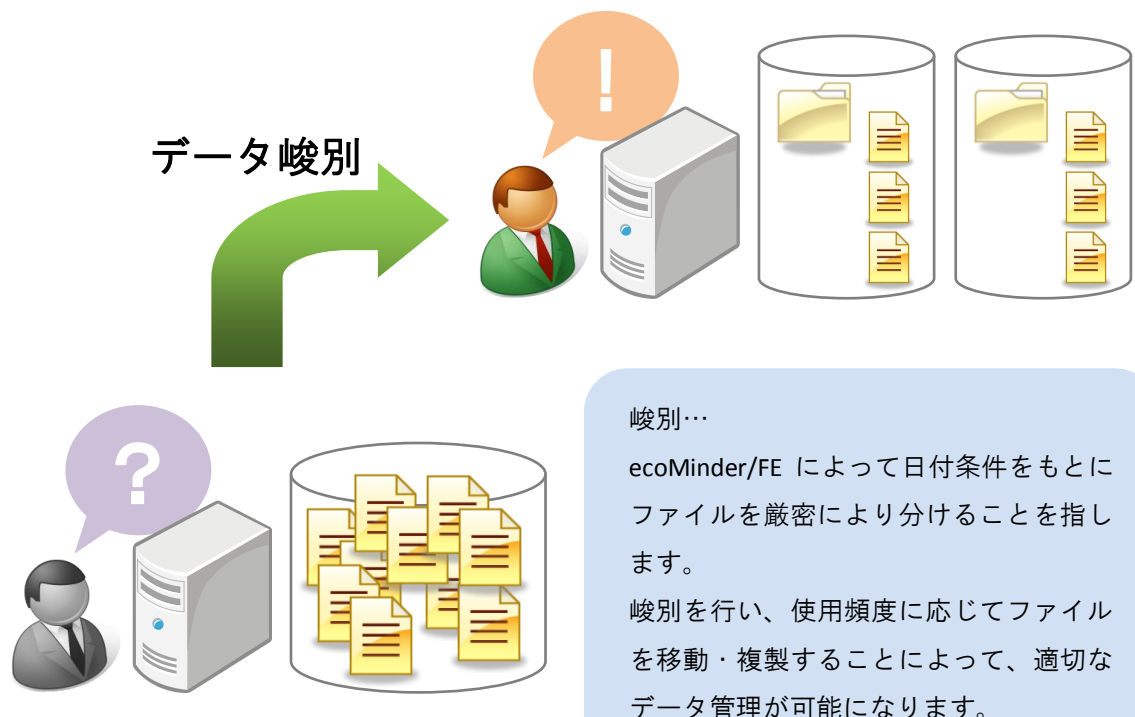
### 1-1. ecoMinder/FE の概要

現在、「ドキュメント」の多くは電子化されており、ドキュメントを保管し、管理するファイルサーバは、企業にとってなくてはならない存在となっています。

しかしながら、ファイルサーバに長年蓄積されたデータの中には、「保存しているだけ」、「いつ使うかわからない」、「誰が作ったかわからない」といったデータが大量に存在し、どれだけのデータがどのように存在しているか、システム管理者や利用者にも把握できないまま、データは常に増え続けています。

こうした状況に対し、ecoMinder/FE を導入すると、ファイルサーバ上のデータを峻別することができるようになります。

ecoMinder/FE はファイルの更新日やアクセス日を基準にデータを監視し、日々増え続けるデータの適切な管理を可能にします。



## 1-2. ecoMinder/FE の特徴

ecoMinder/FE は、以下の特徴を持っています。

- ファイルの移動や復元を実行  
たとえば、長い期間使用されていないファイルを峻別し、別の場所へ移動させることでファイルサーバに使っているファイルだけを残します。また、ファイルを移動させた後でも、再び使用されるようになったファイルは自動で復元されます。
- ファイル峻別設定の自由なカスタマイズが可能  
ファイルの峻別設定は、アクセス日・更新日・作成日をキーにした期間や、ファイルサイズをキーにして設定することができ、ファイルサーバの運用基準に応じた自由なカスタマイズが可能です。
- ファイルサーバのデータ状態を可視化しシミュレーション  
ファイルサーバ内のデータが現在どのように使われているのか、グラフィカルに表示でき、レポートを出力することでファイルサーバのデータ状態が可視的に把握できるようになります。また、ファイル峻別設定にもとづく分析結果から、実際にファイルを峻別する前にファイルサーバのデータを適切な状態にする容量シミュレーションが行えます。

## &lt;シミュレーション画面&gt;



ecoMinder/FE

基本設定  
移動設定  
分析  
シミュレーション  
実行  
整理  
レポート  
ライセンス  
メール通知  
サマリー

指定した移動設定の分析ファイルより、どれだけディスク空き容量が増えるかシミュレーションします。(分析を先に行う必要があります)

設定1: ユーザ設定1  
対象フォルダ: C:\ecoMinder  
保管フォルダ: C:\ecoMinder\_backup

分析日: 2009/10/30 19:51に分析した結果からシミュレーションします。  
シミュレーション日付条件: 更新日  
シミュレーション開始

| 種類          | ファイル数 | MB(メガバイト) |
|-------------|-------|-----------|
| 移動するファイル    | 19677 | 819.54    |
| 移動しないファイル   | 2038  | 1446.76   |
| システムファイル    | 1     | 0.04      |
| エラーとなったファイル | 0     | 0.00      |
| 対象条件以外のファイル | 15576 | 61.73     |
| 合計          | 37291 | 2328.06   |

算出結果も移動設定の移動条件に反映  
シミュレーション日付条件が 2009/09/06 ~ 2009/10/30 のファイルを対象とする  
移動条件に反映  
シミュレーション詳細情報をレポートに出力します: 出力...  
閉じる

ライセンス有効期限 2012/10/29 状態: 待機中

### 1-3. ecoMinder/FE の用途

ecoMinder/FE は、次のような用途に適しています。

- ファイルサーバのデータ整理  
ecoMinder/FE を導入すると、ファイルの日付や拡張子によってファイルサーバに保存されているデータを峻別できます。これによって、ファイルサーバに、どのようなデータが保存されているか把握することができるようになります。
- バックアップの最適化  
ecoMinder/FE を導入すると、使用頻度ごとにファイルを区別し、使われていないファイルを日付や容量などを基準に別の場所へ移動できます。このため、ファイルサーバのディレクトリごとに、使用頻度に応じたバックアップ運用の見直しができるようになり、全体的なバックアップ時間を短縮できるようになります。
- クライアントに保存されているデータを自動的にファイルサーバへ保存  
ecoMinder/FE を導入すると、クライアントのローカルディスクに保存されたデータは、クライアントの利用者が意識することなく、ファイルサーバに自動で移動し、保存することができます。これによって、予期せぬクライアント障害によるデータの紛失を防ぐことができます。



#### 1-4. ecoMinder/FE の機能

ecoMinder/FE は、主に以下の機能を提供します。

- ディスクの分析機能  
設定された峻別内容にもとづいて、ディスク内を分析し、峻別対象となるファイルの情報を抽出します。
- シミュレーション機能  
ディスクの分析結果から、ファイル峻別のシミュレーションが行えます。また、シミュレーション結果をもとに峻別の設定変更が行えるので、最適なファイルの峻別が可能になります。
- ファイル峻別機能  
移動設定、分析、シミュレーションにもとづきファイルの峻別を行います。また、峻別方法は、「移動元にショートカットを作成してファイルを移動する」、「ファイルを移動する」、「ファイルをコピーする」といった方法があります。
- ファイルの整理機能 [Standard 版のみ]  
峻別したファイルの削除や強制的な復元、移動元と移動先のファイルの不整合を解消できます。移動したファイルの消去、ファイルを移動元に復元、作成したショートカットと移動したファイルの不整合を防止することが可能になります。
- レポート出力機能 [Standard 版のみ]  
ファイルの移動元や移動先のディスク内容を分析して、CSV 形式のレポートを出力することができます。このレポートを表計算ソフトなどに取り込むことで、ファイルサーバのディスク内容を分析することができます。

## 1-5. ecoMinder/FE の製品構成と機能

ecoMinder/FE は Standard 版と Client 版で構成されており、それぞれ以下のような機能を持っています。運用方法や必要な機能に応じて、Standard 版か Client 版を選択してください。

|            | ecoMinder/FE<br>Standard 版(*1) | ecoMinder/FE<br>Client 版(*2) |
|------------|--------------------------------|------------------------------|
| ディスクの分析機能  | ○                              | ○                            |
| シミュレーション機能 | ○                              | ○                            |
| ファイル峻別機能   | ○                              | ○                            |
| ファイルの整理機能  | ○                              | —                            |
| レポート出力機能   | ○                              | —                            |

\*1 ファイルの移動について 3 種類の設定が保存できます。

\*2 ファイルの移動について 1 種類の設定が保存できます。

## 1-6. システムの前提条件

ecoMinder/FE が動作するための前提条件は以下のとおりです。

## &lt;ソフトウェア要件&gt;

|       |            |  |
|-------|------------|--|
| 適用 OS | Standard 版 | Windows XP (32-bit), Windows 2000(32-bit), Windows Server 2003(32-bit), Windows Server 2008 (32-bit) |
|       | Client 版   | Windows XP (32-bit), Windows 2000(32-bit)  |
| 実行環境  |            | .NET Framework 2.0 Service Pack 1 以降(*1)   |

\*1 ご使用の OS の状態により、サービスパックや、セキュリティ修正プログラム、Microsoft Windows Installer 3.1 以降が必要な場合があります。また、インストール後、再起動が必要となります。

## &lt;ハードウェア要件&gt;

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| CPU     | 1GHz 以上の Intel 互換 CPU         |
| メモリ     | 512MB 以上 (サーバ OS の場合は 1GB 以上) |
| ハードディスク | 4GB 以上の空き (*1)                |
| モニタ     | XGA(1024x768)モニタ以上            |
| ドライブ    | CD-ROM ドライブ (*2)              |

\*1 ecoMinder/FE が動作するために必要な空き容量です。1 つの移動設定について、600 万ファイルの分析を行うと、約 2GB の分析データベースが作成されます。バックアップ先のハードディスクの容量は含まれておりません。

\*2 インストール時に必要です。

## 1-7. ecoMinder/FE 利用上の制限事項

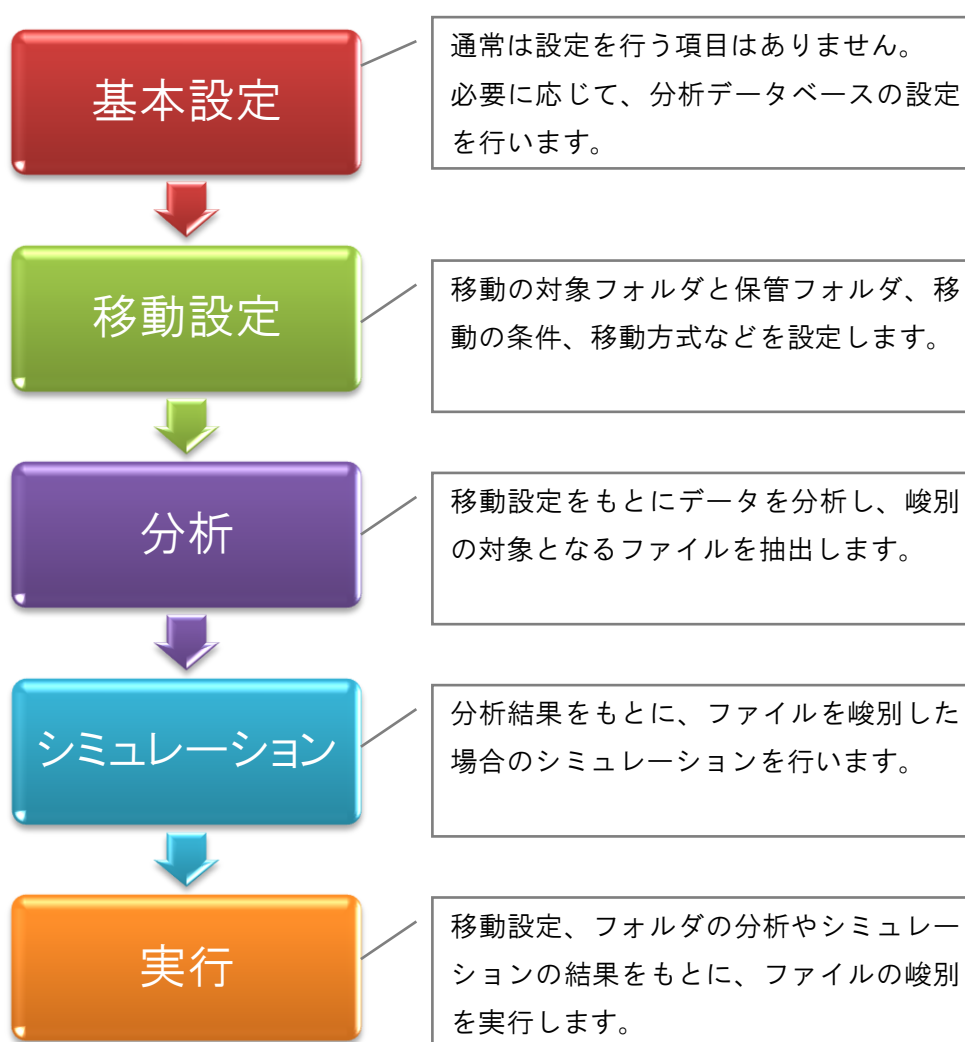
ecoMinder/FE を利用する上での制限事項は以下のとおりです。

- データサイズ  
ecoMinder/FE で取り扱うことのできるディスクのサイズは、2 テラバイト (TB) までです。
- ファイル数  
ecoMinder/FE で取り扱うことのできるファイル数は、600 万ファイルまでです。
- ユーザ権限  
ecoMinder/FE を利用するためには、管理者権限およびサービスとしてログオン権限が必要です。

## 2. 操作のながれ

ecoMinder/FE で最適なファイルの峻別を行うためには、移動設定のほか、設定にもとづくデータの分析、ファイル移動を行った場合のディスク状態のシミュレーションが必要です。

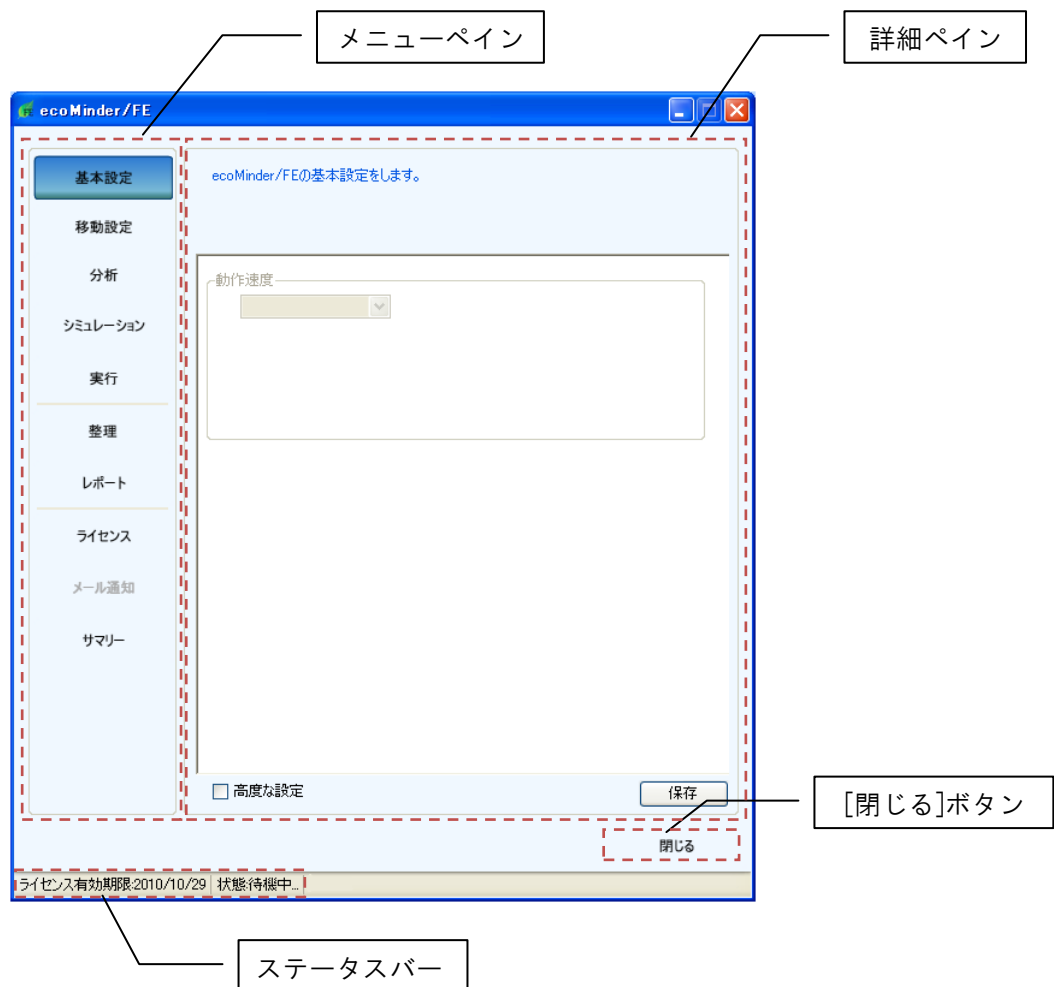
このため、ecoMinder/FE は以下のような操作のながれでファイルの峻別を実行します。



### 3. 画面のレイアウト

ecoMinder/FE の画面は、画面左側のメニューペインと、画面右側の詳細ペインで構成されています。

メニューペインは詳細ペインの表示項目を表示し、各表示項目をクリックすると詳細ペインに各詳細画面が表示されます。



画面下部のステータスバーでは、ecoMinder/FE のライセンス状態と、ecoMinder/FE の現在の動作状況を表示しています。

ecoMinder/FE を終了する時は、画面右下の[閉じる]をクリックします。

## 4. 基本設定

### 4-1. 基本設定について

基本設定画面では通常、設定する項目はありません。

ただし、[高度な設定]をチェックすると、ファイルの分析や峻別を行った時に作られる分析データベースの保存先を設定することができます。



## 4-2. 高度な設定について

[高度な設定]をチェックすると、分析データベースの保存先の設定や削除が行えます。

分析データベースには、ファイルの分析結果や峻別を行った際の一時ファイルが保存されます。



分析データベースを設定するためには、詳細ペイン左下の[高度な設定]のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。



#### 4-3. 分析データベースの保存先について

分析データベースは、分析や峻別を行うファイル数が多い場合には、2 ギガバイトから 6 ギガバイト程度の空き容量が必要になることもあります。

分析データベースは保存先を特に設定しない場合、共通アプリケーションデータフォルダ（例：C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HitachiTO\ecoMinder\ecoMinderFE\work）に保存されますが、システムディスクの空き容量が少ない場合や、ecoMinder/FE で分析や峻別を行う対象ファイルの数が多い場合など、必要に応じて保存先を変更してください。

ディスク容量が不足すると、分析や峻別が実行できないなど、予期しない動作をする場合があります。

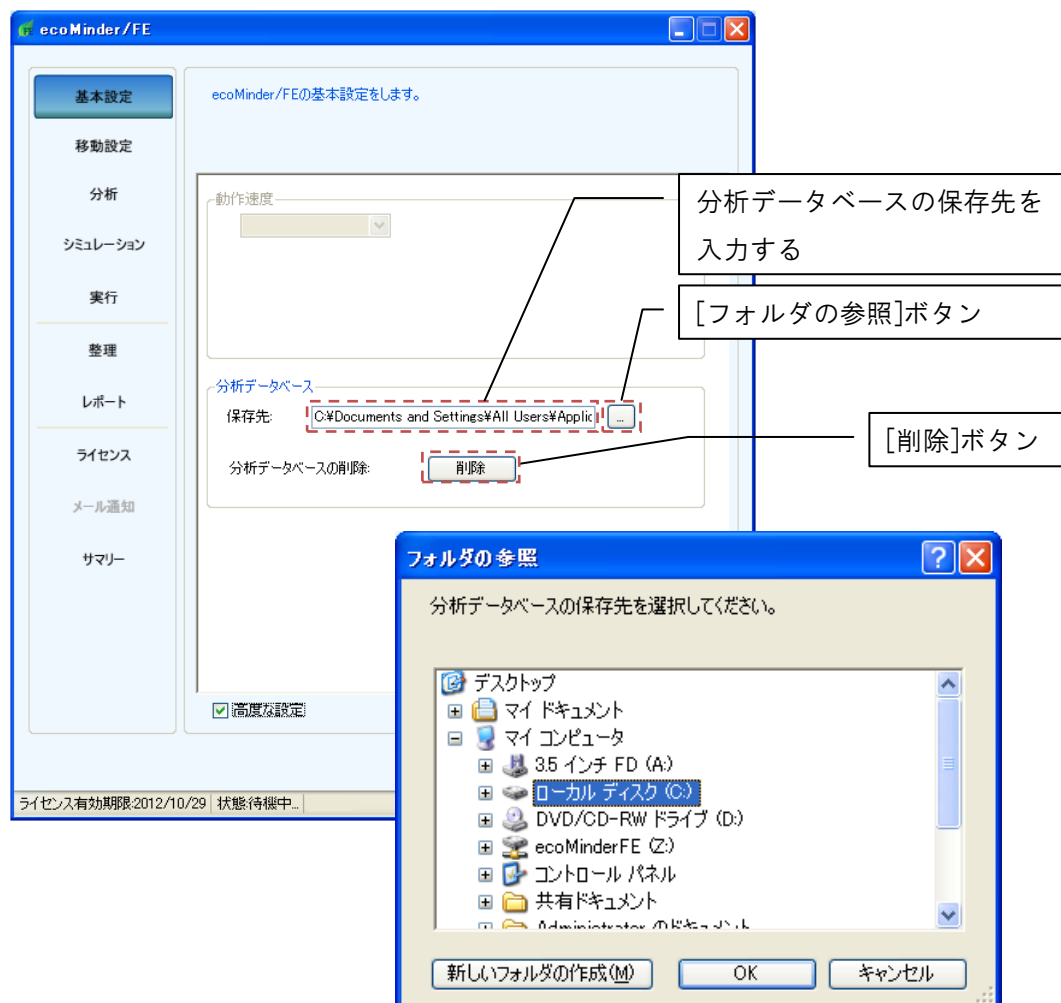
保存先に十分な空き容量がない場合は、保存場所の変更を推奨します。

## 4-4. 分析データベースの設定

分析データベースの保存先を入力します。

[保存先]には絶対パスを設定しますが、絶対パスはテキストボックスに直接入力するか、[フォルダの参照]ボタンをクリックして該当するフォルダを選択して設定します。

分析データベースを削除する場合は、[削除]ボタンをクリックして削除します。



## 4-5. 基本設定の保存

設定が終わったら、詳細ペイン右下の[保存]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。



下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



以上で、基本設定は終了です。続いて、移動設定を行います。

## 5. 移動設定

### 5-1. 移動設定について

移動設定画面では、峻別を行う対象フォルダや保管フォルダの設定、峻別対象となるファイルのサイズ、保管フォルダの上限容量のほか、峻別の動作条件を設定します。また、[高度な設定]をチェックすると、ファイルの移動方式や自動復元の設定、峻別対象となるファイルの拡張子の設定などが行えます。

移動設定で行う設定内容をもとに、フォルダの分析、ファイル峻別のシミュレーション、ファイル峻別の実行が行われます。

#### <注意事項>

対象フォルダや保管フォルダにシステムディレクトリ、もしくはシステムディレクトリにリンクされているディレクトリを指定すると、重大な問題を引き起こす可能性があります。そのため、対象フォルダや保管フォルダには、システムディレクトリ、もしくはシステムディレクトリにリンクされているディレクトリを指定しないでください。

## 5-2. 移動設定の設定項目について

移動設定では、以下の項目を設定します。

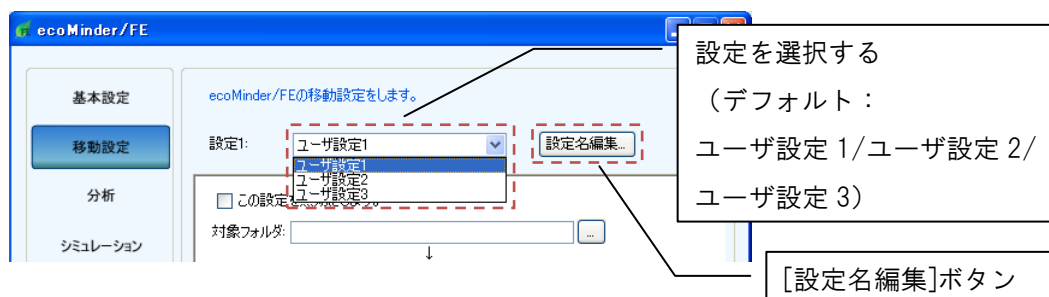
| 設定項目        | 設定内容                          |
|-------------|-------------------------------|
| 対象フォルダ      | 移動対象となるフォルダの絶対パスを設定します。       |
| 保管フォルダ      | 移動するファイルを保管するフォルダの絶対パスを設定します。 |
| 対象ファイルサイズ   | 移動対象となるファイルのサイズを設定します。        |
| 保管フォルダの上限容量 | 保管フォルダに移動できる上限容量を設定します。       |
| 動作条件        | 条件日時や移動条件を設定します。              |

## 5-3. 各項目の設定

### 5-3-1. 設定の指定

詳細ペイン上部のコンボボックスから、設定を行う設定名を選択します。

\*Client 版の場合、設定名は 1 種類のみ。



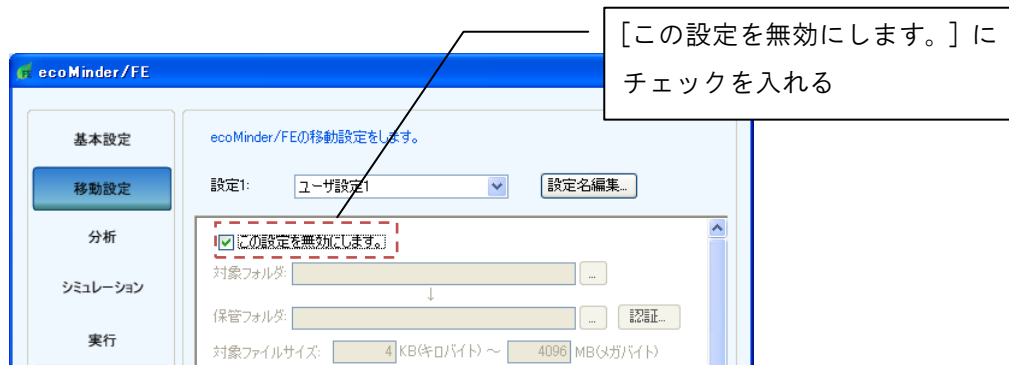
設定名は任意の名前に変更することもできます。設定名を変更する時は[設定名編集]ボタンをクリックして、設定名編集画面を開き、任意の名前を入力してください。

#### <注意事項>

ファイル名に利用できない記号「¥/.,;\*?<>|」を含む名前は設定名に指定できません。

## 5-3-2. 設定の無効化

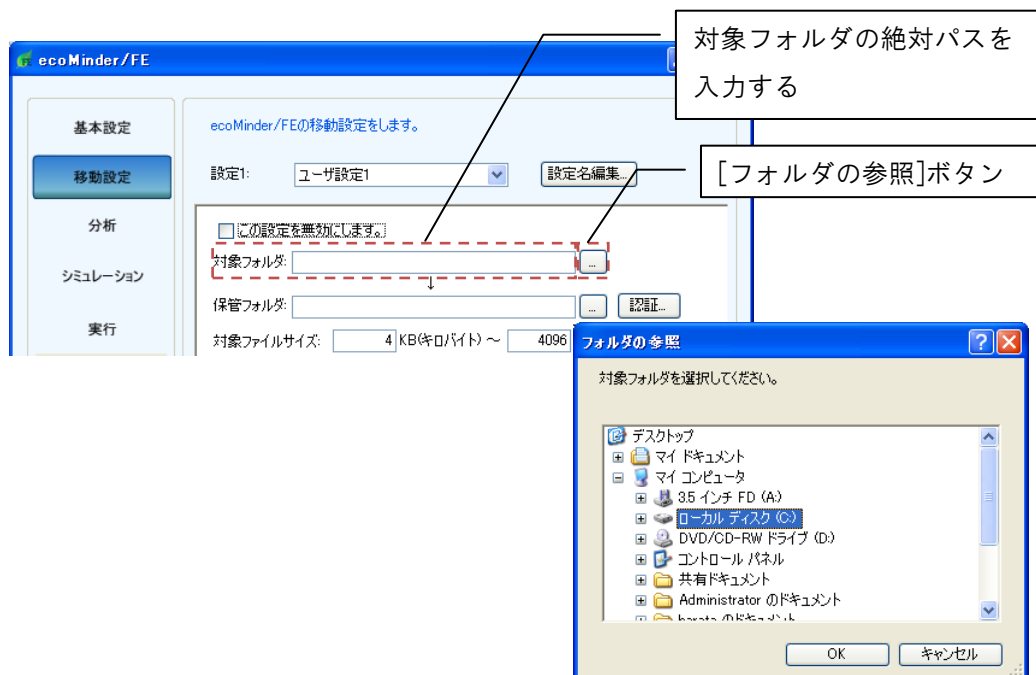
指定した設定を無効にしたい場合は、詳細ペインの[この設定を無効にします。]をクリックし、チェックを入れてください。



## 5-3-3. 対象フォルダの設定

峻別対象となるフォルダの絶対パスを設定します。

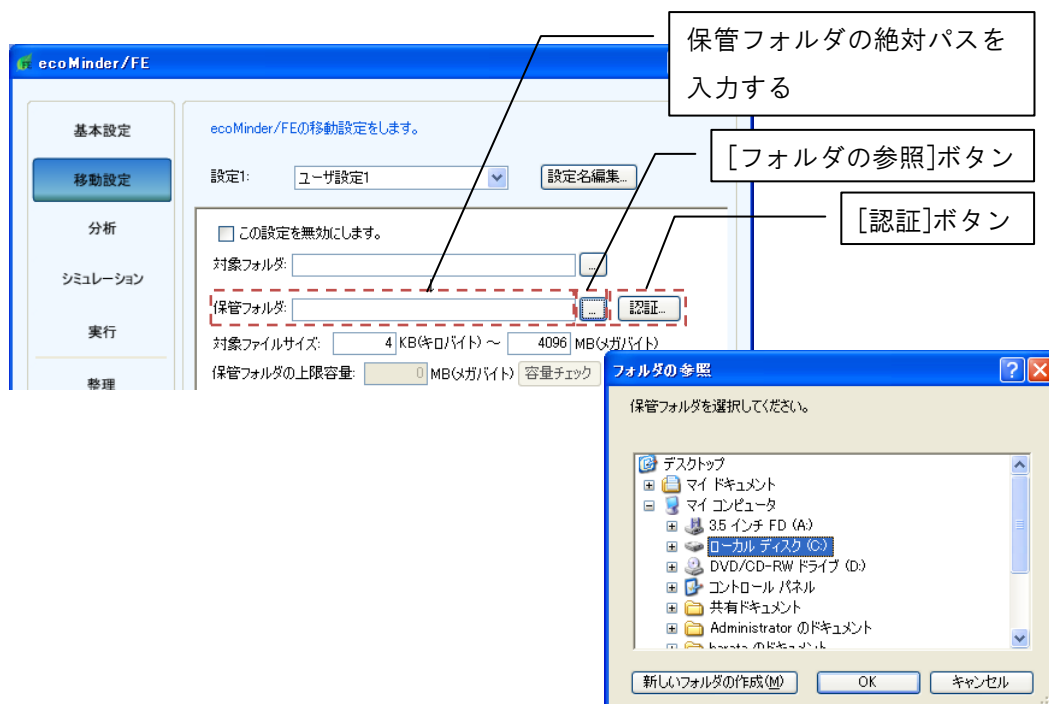
絶対パスはテキストボックスに直接入力するか、[フォルダの参照]ボタンをクリックして該当するフォルダを選択します。



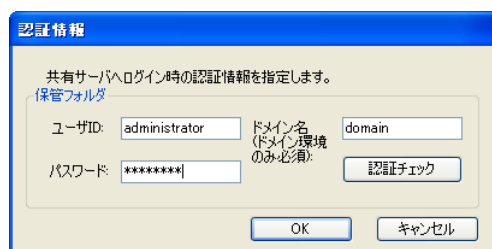
## 5-3-4. 保管フォルダの設定

峻別によって移動するファイルを保管するフォルダの絶対パスを設定します。

絶対パスはテキストボックスに直接入力するか、[フォルダの参照]ボタンをクリックして該当するフォルダを選択します。



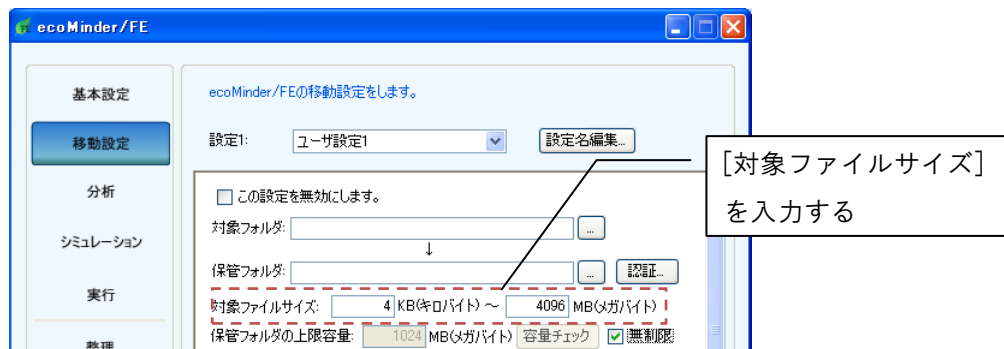
また、保管フォルダにネットワークドライブを指定して、認証が必要な場合には、[認証]ボタンをクリックして、認証情報画面を開き、必要な情報を入力します。



## 5-3-5. 対象ファイルサイズの設定

移動対象となるファイルのサイズについて、最小値と最大値を入力します。

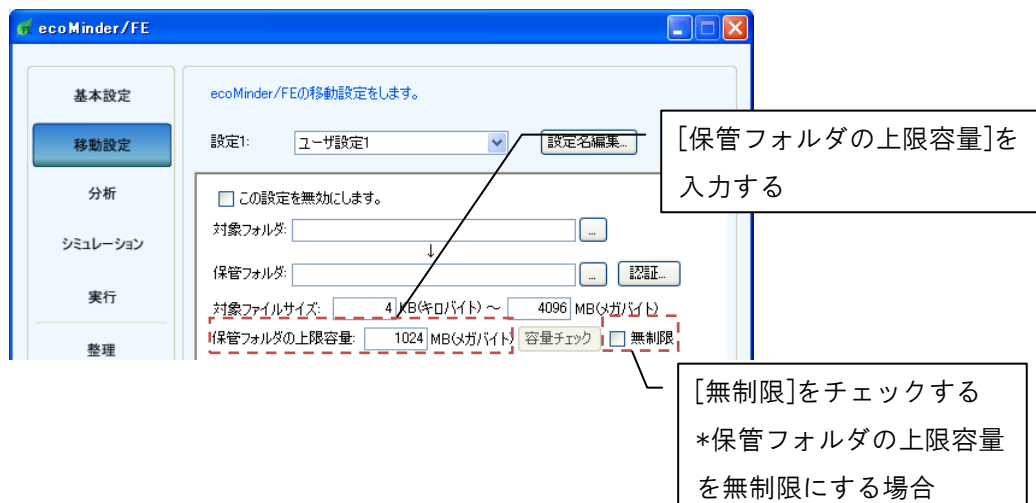
なお、最小値の単位はKB（キロバイト）、最大値の単位はMB（メガバイト）です。



## 5-3-6. 保管フォルダの上限容量の設定

保管フォルダに移動できる上限容量を入力します。

なお、上限容量の単位はMB（メガバイト）です。

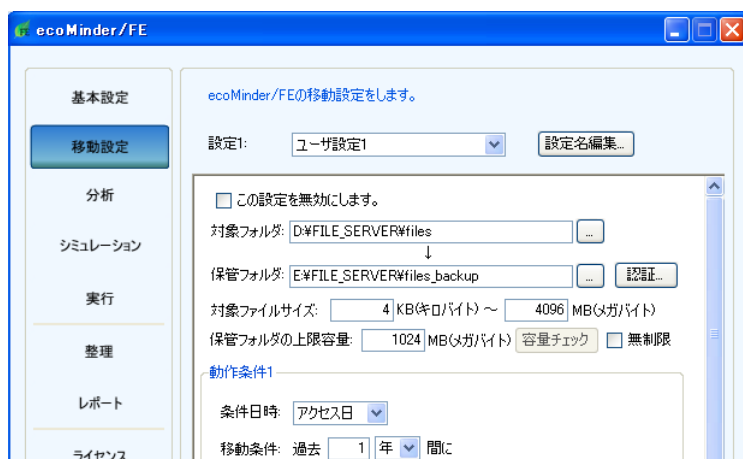


また、保管フォルダの上限容量を無制限にする場合は、[無制限]のチェックボックスをクリックします。

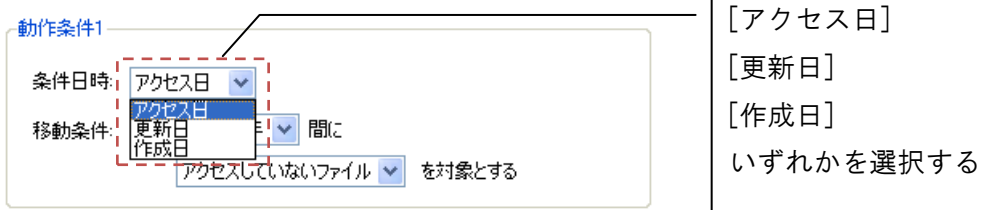


### 5-3-7. 動作条件の設定

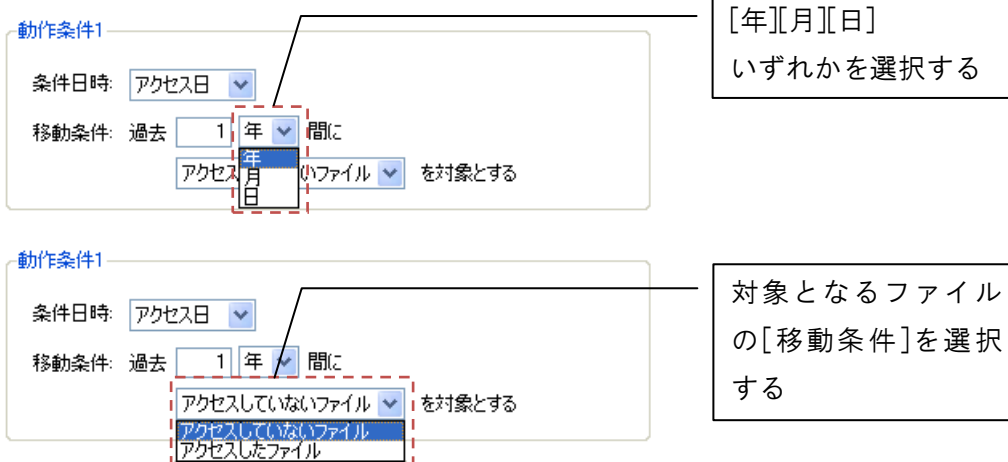
[動作条件 1]で[条件日時]、[移動条件]を設定します。



[条件日時]では[移動条件]となる日付の種類を選択します。



[移動条件]は[条件日時]で選択した日付の種類に対する期間を設定し、対象となるファイルの移動条件を選択します。



## 5-4. 高度な設定について

[高度な設定]をチェックすると、ファイルの移動方式や自動復元の設定、峻別対象となるファイルの拡張子の設定などが行えます。

移動設定では特に設定しない場合、対象フォルダにショートカットを作成して保管フォルダにファイルの移動を行います。高度な設定を行うと、ショートカットを作成して移動するほかに、「ファイルのコピー」や「ファイルの移動」などの設定ができます。また、ファイルの自動復元では移動条件をもとにファイルを自動復元するように設定できます。さらに、峻別対象となるファイルの拡張子も選択できます。



[高度な設定]をチェックする

高度な設定をする場合には、詳細ペイン左下の[高度な設定]のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。

## 5-5. 高度な設定の設定項目について

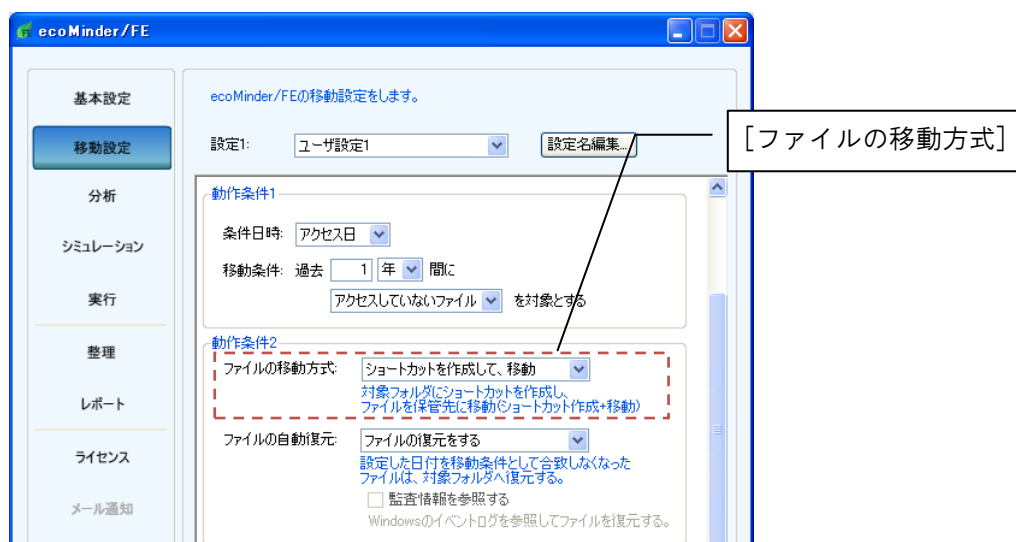
高度な設定では、以下の項目を設定します。

| 設定項目      | 設定内容                                  |
|-----------|---------------------------------------|
| ファイルの移動方式 | 対象フォルダから保管フォルダへの移動方式を設定します。           |
| ファイルの自動復元 | 移動条件に合致しなくなったファイルをもとの場所へ戻す自動復元を設定します。 |
| 対象拡張子     | 峻別対象となるファイルの拡張子を選択します。                |
| 圧縮ファイル    | 峻別対象となる圧縮ファイルを選択します。                  |

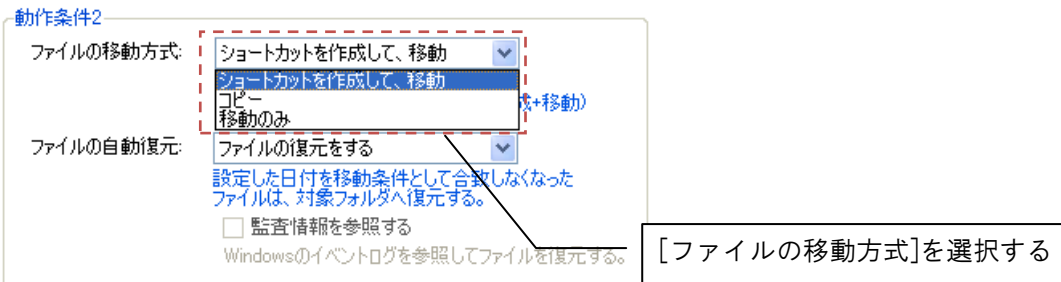
## 5-6. 高度な設定の各項目

### 5-6-1. ファイルの移動方式の設定

[動作条件 2]で[ファイルの移動方式]を設定します。



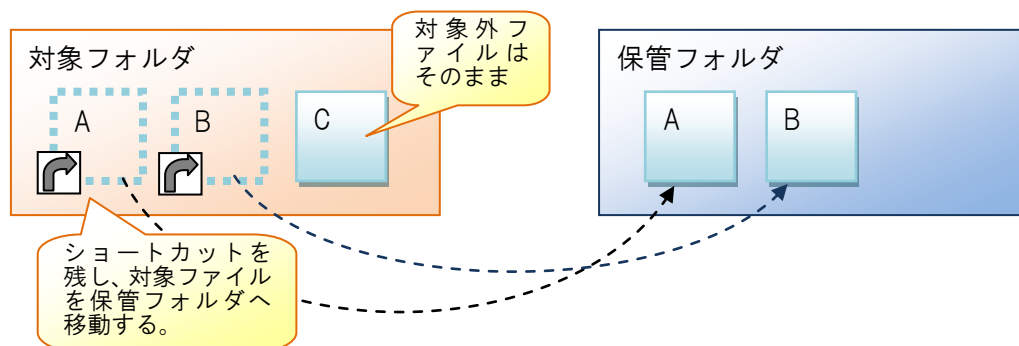
対象フォルダから保管フォルダへの[ファイルの移動方式]を選択します。



移動方式は次の3つの方法から選択できます。

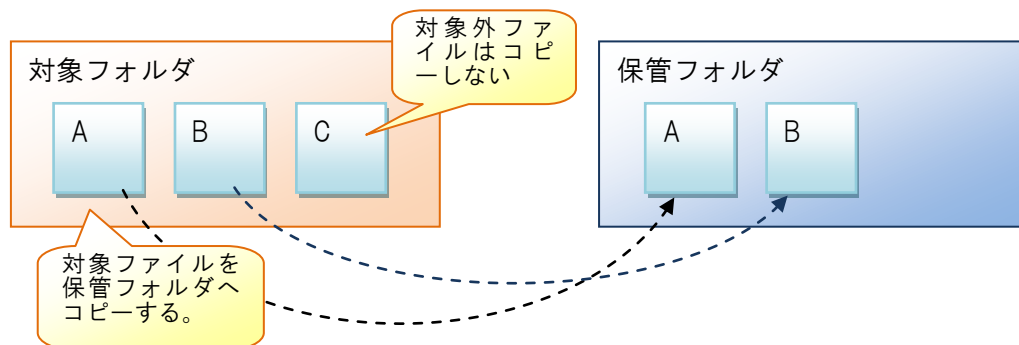
#### (1) ショートカットを作成して、移動

対象フォルダにショートカットを作成し、ファイルを保管フォルダに移動します。



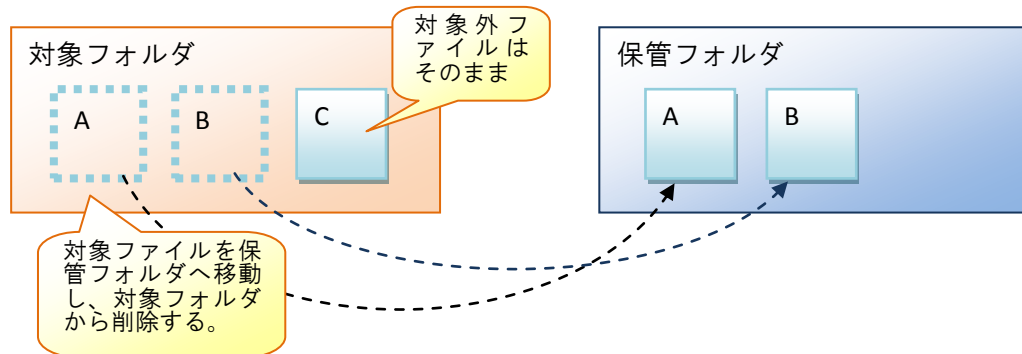
#### (2) コピー

ファイルを対象フォルダから保管フォルダにコピーします。



## (3) 移動のみ

ファイルを対象フォルダから保管フォルダに移動します。



## 5-6-2. ファイルの自動復元の設定

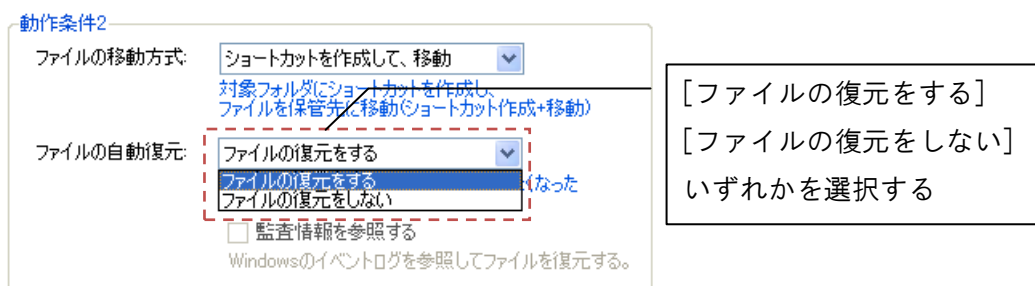
[動作条件 2]で[ショートカットを作成して、移動]を選択した場合、[ファイルの自動復元]を設定することができます。



[ファイルの自動復元]を選択します。

[ファイルの復元をする]を選択した場合、[動作条件 1]で設定した[条件日時]、[移動条件]に合致しなくなったファイルは対象フォルダに復元されます。

[ファイルの復元をしない]を選択した場合、一度移動したファイルは対象フォルダに復元されません。



## 5-6-3. 対象拡張子の設定

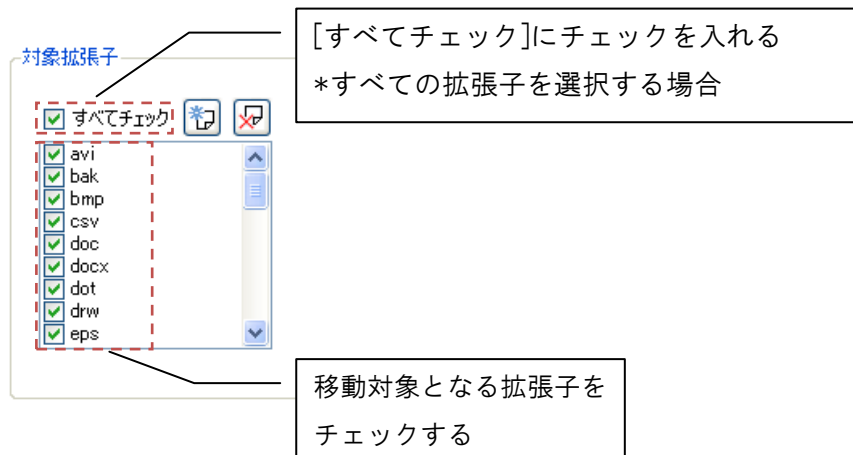
[対象拡張子]で移動対象となるファイルの拡張子を設定します。

**<注意事項>**

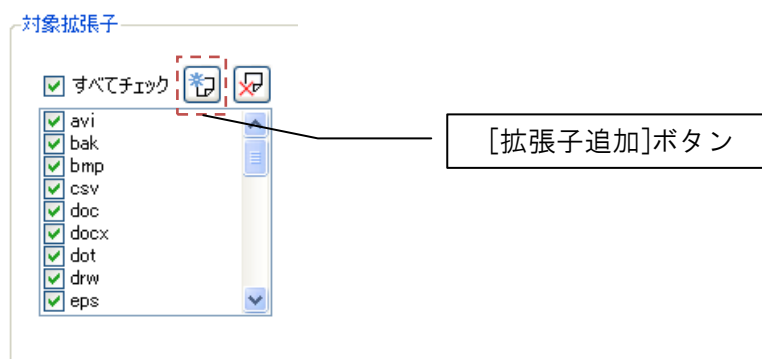
対象フォルダや保管フォルダに、システムやアプリケーションがインストールされているフォルダを指定し、対象拡張子に exe や dll を追加すると、システムやアプリケーションが動作しなくなるような致命的な障害を引き起こす可能性があります。

リストに表示されている拡張子から移動対象となる拡張子のチェックボックスをクリックし、チェックします。

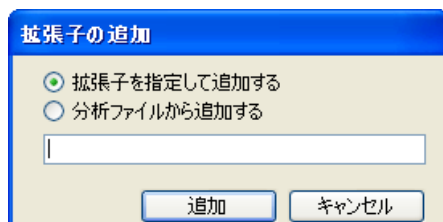
また、リストに表示されているすべての拡張子を移動する場合には、[すべてチェック]のチェックボックスをクリックし、チェックします。



リストに表示されていない拡張子を追加する場合は、[拡張子追加]ボタンをクリックし、拡張子の追加画面を開きます。

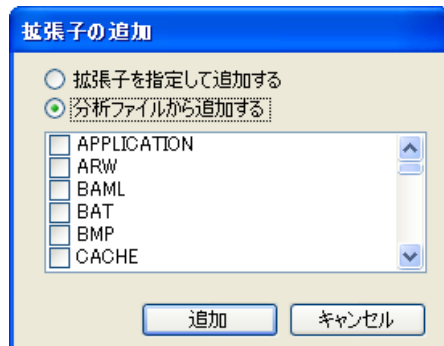


任意の拡張子を指定する場合は、拡張子の追加画面で[拡張子を指定して追加する]ラジオボタンを選択し、追加する拡張子を入力します。

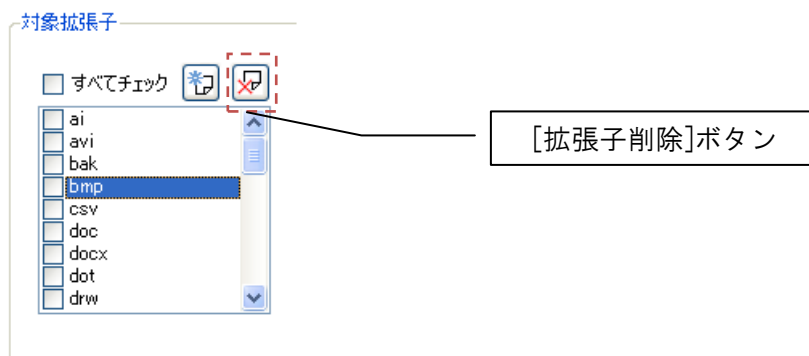




拡張子を分析ファイルから追加する場合は、拡張子の追加画面で[分析ファイルから追加する]ラジオボタンを選択し、追加する拡張子を選択します。



リストに表示されている拡張子を削除する場合は、削除したい拡張子を選択し、[拡張子削除]ボタンをクリックします。

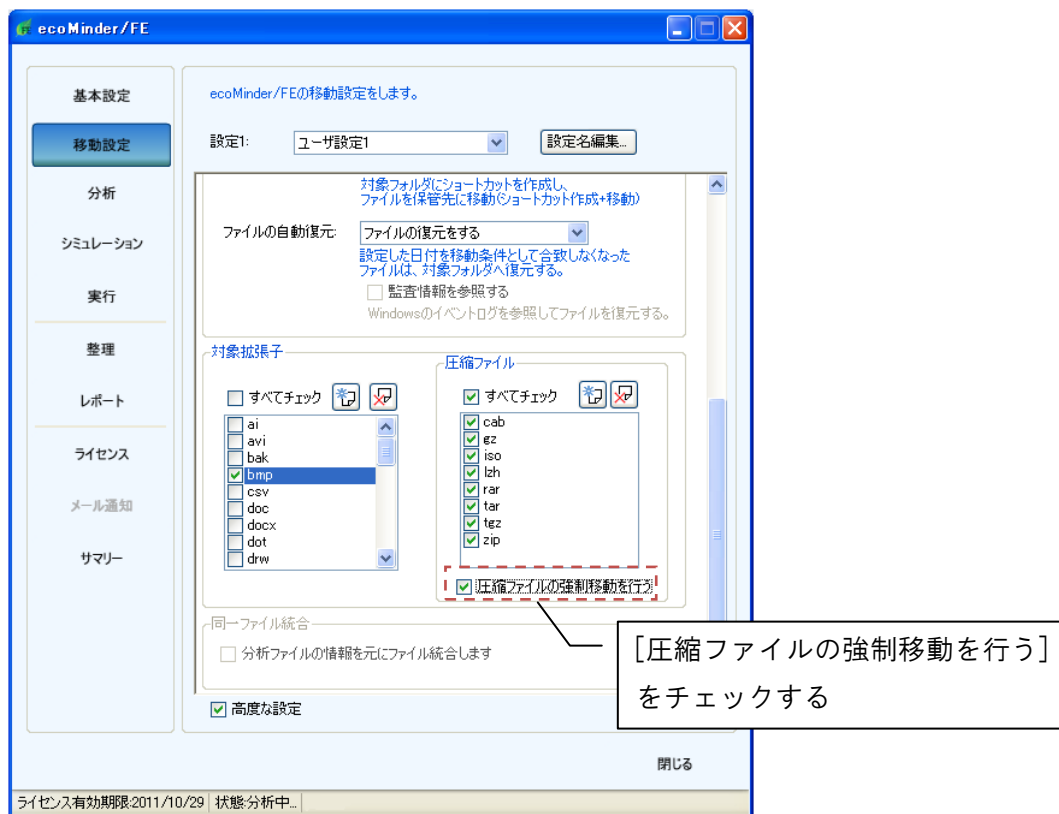


<注意事項>

- ・ 拡張子を選択すると、背景色がブルーに表示されます。
- ・ 1 度に複数の拡張子を削除することはできません。

## 5-6-4. 圧縮ファイルの設定

動作条件にかかわらず、圧縮ファイル移動の設定を行う場合は、[圧縮ファイルの強制移動を行う]チェックボックスをクリックしてチェックを入れ、移動対象となる圧縮ファイルを設定します。[圧縮ファイルの強制移動を行う]をチェックしない場合は、[対象拡張子]の設定と同じ設定でファイルの移動が行われます。

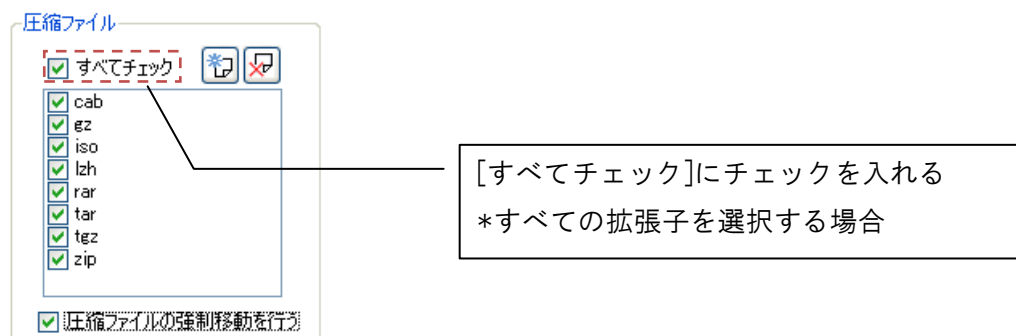


## &lt;注意事項&gt;

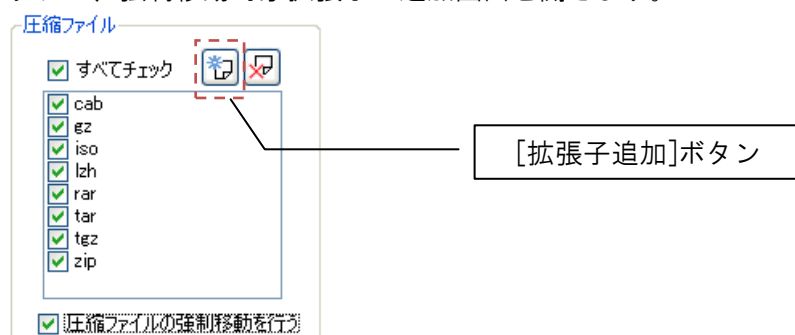
対象フォルダや保管フォルダに、システムやアプリケーションがインストールされているフォルダを指定し、対象拡張子に exe や dll を追加すると、システムやアプリケーションが動作しなくなるような致命的な障害を引き起こす可能性があります。

リストに表示されている圧縮ファイルの拡張子から移動対象となる拡張子のチェックボックスをクリックし、チェックします。

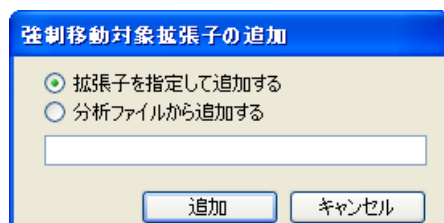
また、リストに表示されているすべての拡張子を移動する場合には、[すべてチェック]のチェックボックスをクリックし、チェックします。



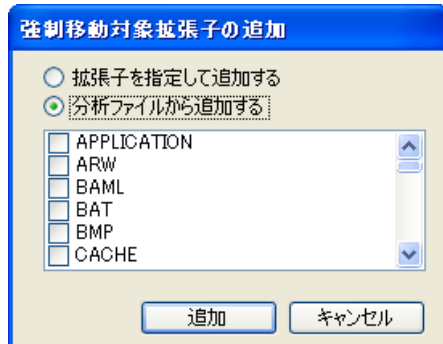
リストに表示されていない拡張子を追加する場合は、[拡張子追加]ボタンをクリックし、強制移動対象拡張子の追加画面を開きます。



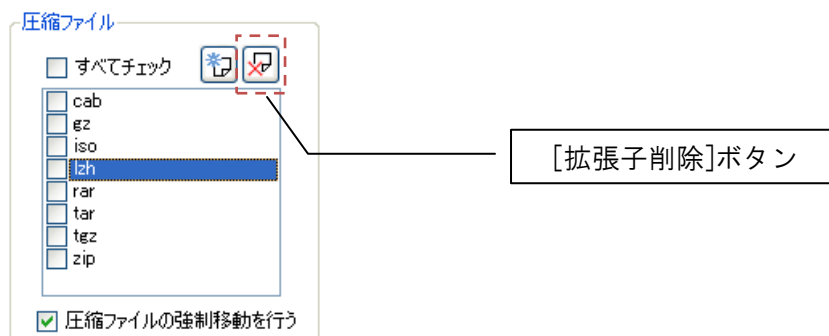
任意の拡張子を指定する場合は、強制移動対象拡張子の追加画面で[拡張子を指定して追加する]ラジオボタンを選択し、追加する拡張子を入力します。



拡張子を分析ファイルから追加する場合は、強制移動対象拡張子の追加画面で[分析ファイルから追加する]ラジオボタンを選択し、追加する拡張子を選択します。



リストに表示されている圧縮ファイルの拡張子を削除する場合は、削除したい拡張子を選択し、[拡張子削除]ボタンをクリックします。



<注意事項>

- ・ 拡張子を選択すると、背景色がブルーに表示されます。
- ・ 1度に複数の拡張子を削除することはできません。

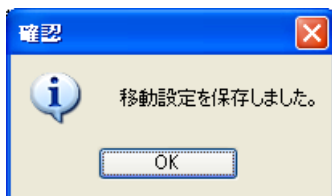
## 5-7. 移動設定の保存

設定が終わったら、詳細ペイン右下の[保存]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。



[保存]ボタン

下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



以上で、移動設定は終了です。続いて、移動設定の内容をもとに対象フォルダと保管フォルダの分析を行います。

## 6. 分析

分析画面では、移動設定での設定内容をもとに対象フォルダと保管フォルダの分析を行います。

分析を行うことで設定内容に一致するファイルの情報が取得され、また分析結果をもとにディスクの空き容量をシミュレーションできるようになります。



分析画面では、[現在の状態]が[分析中][実行待ち][待機中]のいずれかで表示され、[分析中]の場合には[分析の中止]ボタンで分析を中止することができます。

分析を開始するには、[今すぐ実行]ボタンをクリックするか、[開始予定日時を指定して実行する]をチェックし、日時を指定して分析を実行することができます。

分析画面で設定した内容は詳細ペイン右下の[保存]ボタンをクリックし、保存できます。

以上で、分析は終了です。続いて、分析結果をもとに移動のシミュレーションを行います。

## 7. シミュレーション

### 7-1. シミュレーションについて

指定した設定について、移動設定で設定した内容をもとに分析した結果から、峻別されるファイルのシミュレーションを行います。

シミュレーションを行うことで、どれだけのファイルが峻別されるか把握できるとともに、境界となる日時を変更することで、最適なファイルの峻別を設定することが可能になります。

ecoMinder/FE

指定した移動設定の分析ファイルより、どれだけディスク空き容量が増えるかシミュレーションします。(分析を先に行う必要があります)

設定1: ユーザ設定1

対象フォルダ: C:\FILE\_SERVER\files

保管フォルダ: C:\FILE\_SERVER\files\_backup

分析日: 分析が行われていません。

シミュレーション日付条件: 更新日

シミュレーション開始

| 種類          | ファイル数 | MB(メガバイト) |
|-------------|-------|-----------|
| 移動するファイル    |       |           |
| 移動しないファイル   |       |           |
| システムファイル    |       |           |
| エラーとなったファイル |       |           |
| 対象条件以外のファイル |       |           |
| 合計          |       |           |

算出結果を移動設定の移動条件に反映

シミュレーション日付条件が ~ のファイルを対象とする

移動条件に反映

シミュレーション詳細情報をレポートに出力: 出力

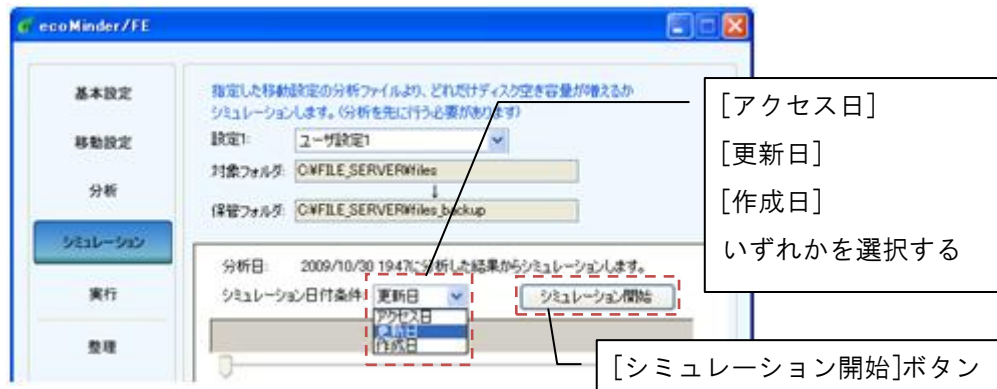
閉じる

ライセンス有効期限2011/10/29 状態:待機中...

シミュレーション画面で設定した移動条件は、[移動条件に反映]ボタンをクリックすることにより移動設定に反映され、ファイルの峻別を実行する際の設定になります。

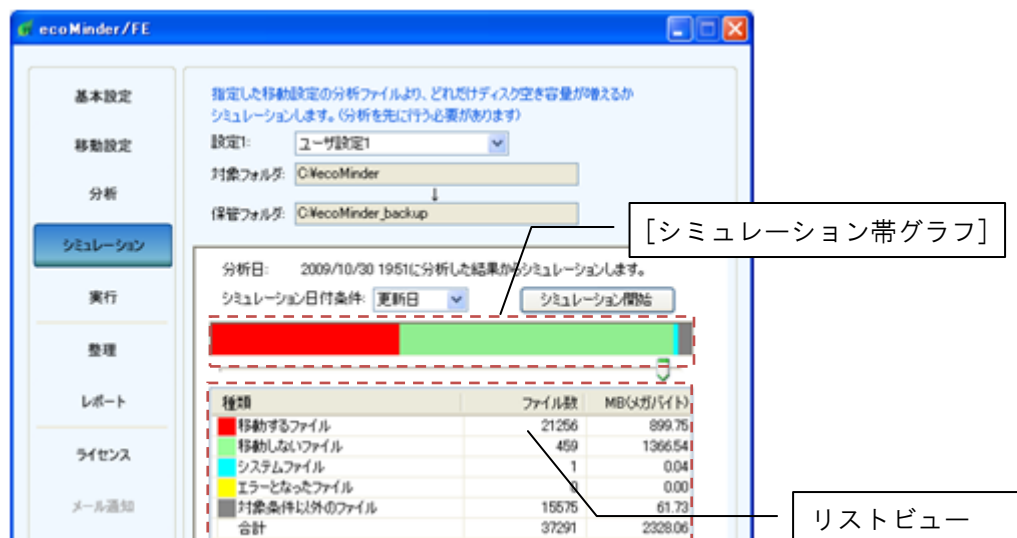
## 7-2. シミュレーションの開始

詳細ペインの[シミュレーション日付条件]を選択し、[シミュレーション開始]ボタンをクリックすると、シミュレーションが開始します。分析したファイル数により、結果が表示されるまで数分～数十分時間がかかることがあります。



## 7-3. シミュレーション結果の表示

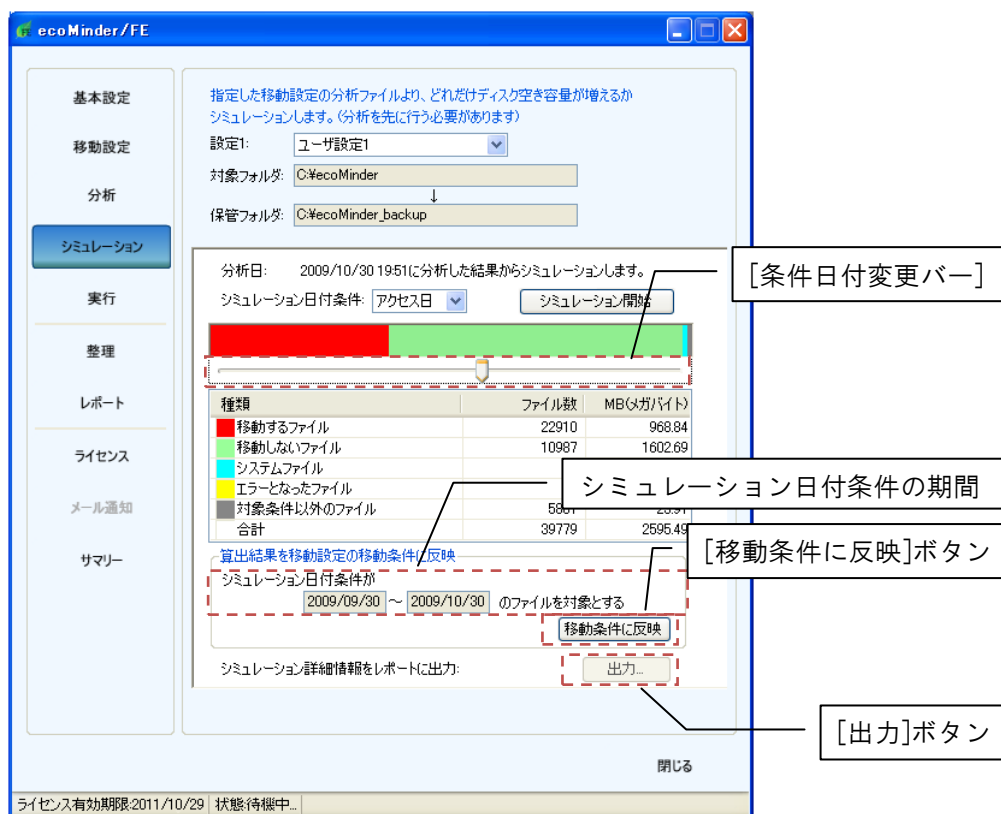
シミュレーションの結果は詳細ペインの[シミュレーション帯グラフ]に表示され、またリストビューにも各ファイルのファイル数および容量（MB）が表示されます。





## 7-4. 条件日時の変更

[条件日付変更バー]を操作することで、移動対象となるファイルと移動対象外となるファイルの境界線となる日付の期間を変更することができます。



[条件日付変更バー]で日付の期間を変更すると、シミュレーション帯グラフやリストビューが再計算され、[シミュレーション日付条件]の期間も変更されます。

日付の期間の変更を行い、再計算された結果から峻別内容を決定したら、[移動条件に反映]ボタンをクリックし、変更された期間を移動設定に反映させます。

また、[出力]ボタンをクリックすると、シミュレーション結果の詳細レポート出力先を設定することができます。

以上で、シミュレーションは終了です。続いて、シミュレーション結果をもとに設定した移動条件でファイルの峻別を行います。

## 8. 実行

### 8-1. 実行について

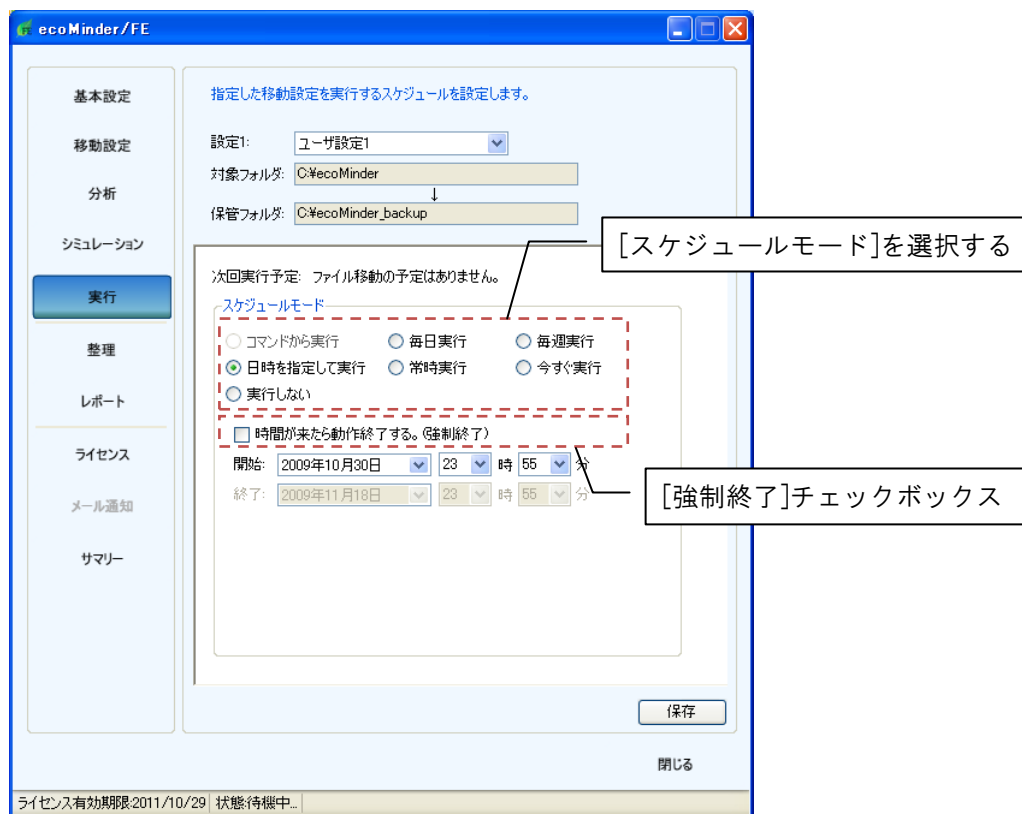
実行画面では、移動設定、分析やシミュレーション結果をもとにファイルの峻別を実行します。

ファイル峻別は実行画面で設定したスケジュールをもとに実行されるので、運用に合わせたスケジュールを選択し、設定してください。



## 8-2. スケジュールの設定

ファイル峻別の実行スケジュールは、詳細ペインに表示される[スケジュールモード]で設定します。



スケジュールモードの内容は以下のとおりです。

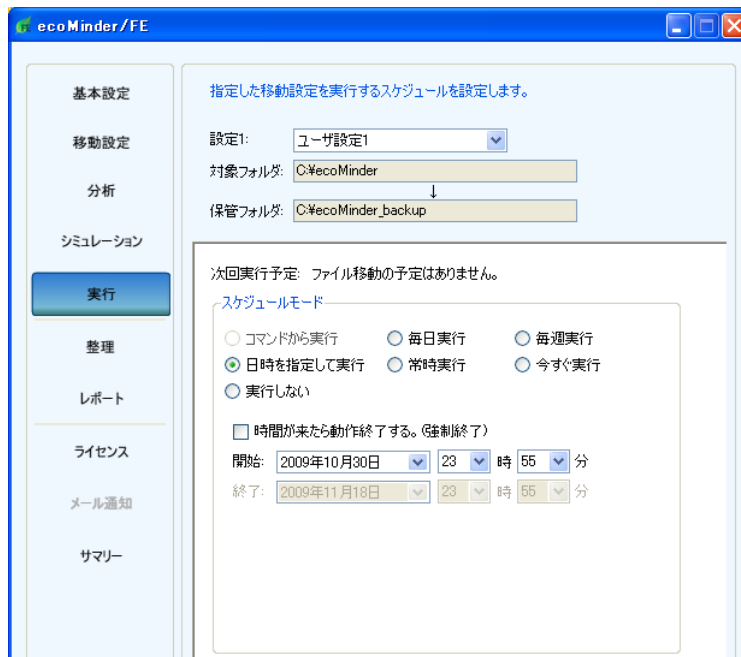
| スケジュールモード | 内容                        |
|-----------|---------------------------|
| 毎日実行      | 時間を指定して毎日峻別を実行します。        |
| 毎週実行      | 曜日と時間を指定して毎週峻別を実行します。     |
| 日時を指定して実行 | 年月日と時間を指定して峻別を実行します。      |
| 常時実行      | 常時峻別を実行します。               |
| 今すぐ実行     | [実行]ボタンが表示され、すぐに峻別を実行します。 |
| 実行しない     | 峻別を実行しません。                |

なお、[日時を指定して実行]を選択した場合には、[時間が来たら動作終了する。(強制終了)] チェックボックスが表示され、強制終了したい年月日と時間を設定して峻別を強制的に終了させることができます。

## 8-3. 実行スケジュールの保存

設定した実行スケジュールは、詳細ペイン右下の[保存]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

保存された実行スケジュールにしたがって、ファイルの峻別は行われます。



下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



以上で、実行は終了です。続いて、峻別されたファイルの整理や、フォルダの分析および峻別実行のレポート出力機能について説明します。

## 9. 整理 [Standard 版のみ]

### 9-1. 整理について

整理画面では通常、操作する項目はありません。

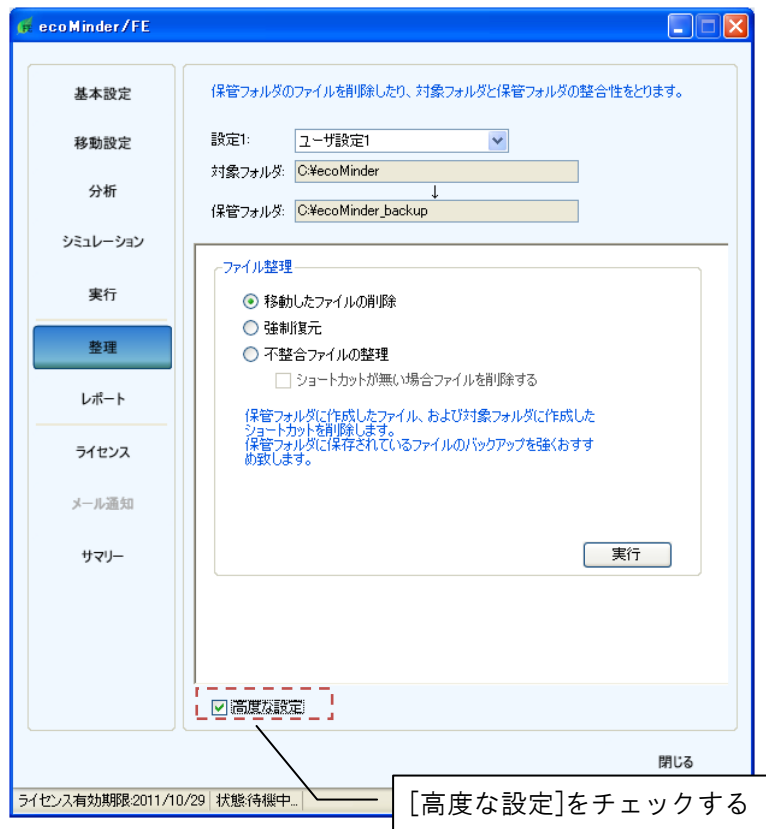
ただし、[高度な設定]をチェックすると、移動したファイルの削除、ファイルの強制復元、不整合ファイルの整理を行うことができます。



## 9-2. 高度な設定について

[高度な設定]をチェックすると、移動したファイルの削除、ファイルの強制復元、不整合ファイルの整理を行うことができます。

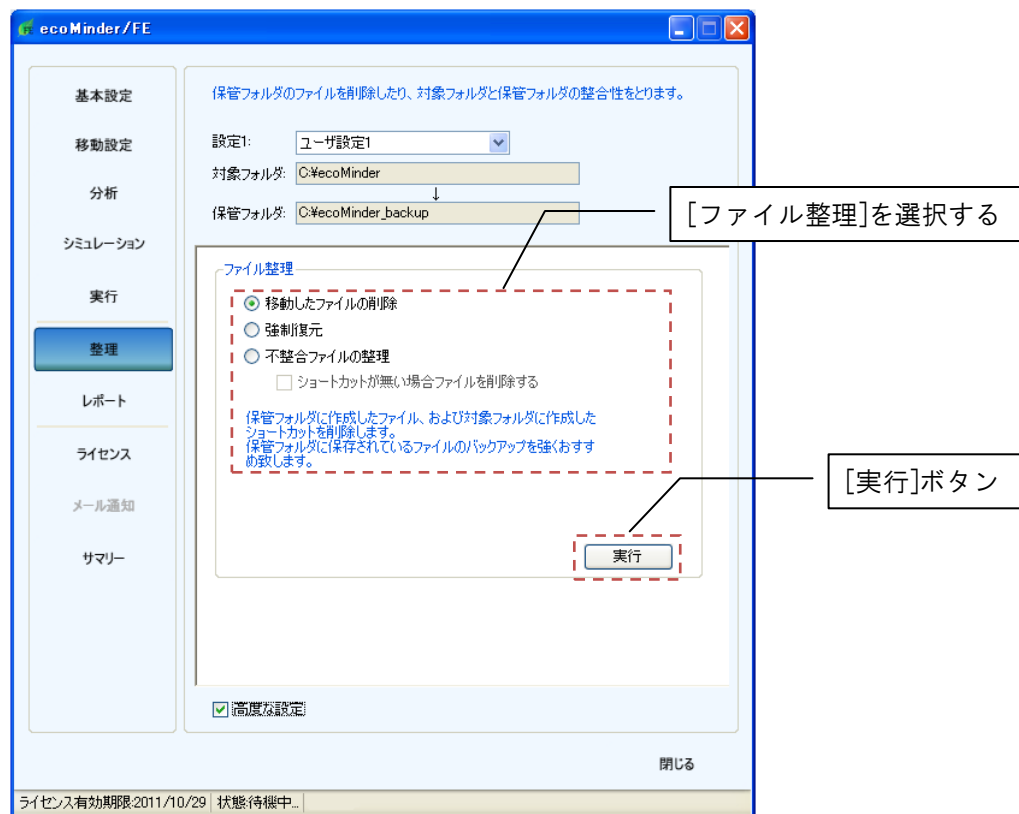
ファイルの整理を行うことで、移動したファイルが不要となった場合、あるいは移動したファイルを元に戻したい場合、また対象フォルダ内のショートカットと保管フォルダ内のファイルに不整合があった場合などにファイルを整理できます。



整理を行うためには、詳細ペイン左下の[高度な設定]のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。

## 9-3. ファイル整理の方法について

ファイルの整理は、詳細ペインに表示される[ファイル整理]から整理方法を選択し、[実行]ボタンをクリックすることで実行します。



ファイルの整理方法は以下のとおりです。

| ファイル整理      | 内容  |
|-------------|---|
| 移動したファイルの削除 | 保管フォルダに移動したファイルおよび対象フォルダのショートカットを削除します。<br>*この処理を行う前に、保管フォルダに保存されているファイルのバックアップを強くお勧めします。   |
| 強制復元        | 保管フォルダに移動したファイルを対象フォルダへ戻し、対象フォルダのショートカットを削除します。   |
| 不整合ファイルの整理  | (1) 対象フォルダにショートカットが存在し、保管フォルダにファイルが存在しない場合、対象フォルダのショートカットを削除します。<br>(2) 対象フォルダにショートカットが存在せず、保管フォルダにファイルが存在する場合、対象フォルダにショートカットを作成します。また、[ショートカットがない場合ファイルを削除する]をチェックした場合は、保管フォルダのファイルを削除します。<br>*この処理を行う前に、レポートの[不整合ファイル一覧]で、不整合状態にあるファイルが存在するか、確認することをお勧めします。 |

以上で、整理は終了です。



## 10. レポート [Standard 版のみ]

### 10-1. レポートについて

レポート画面では通常、操作する項目はありません。

ただし、[高度な設定]をチェックすると、対象フォルダおよび保管フォルダのディスク内容を分析した各レポートを出力することができます。



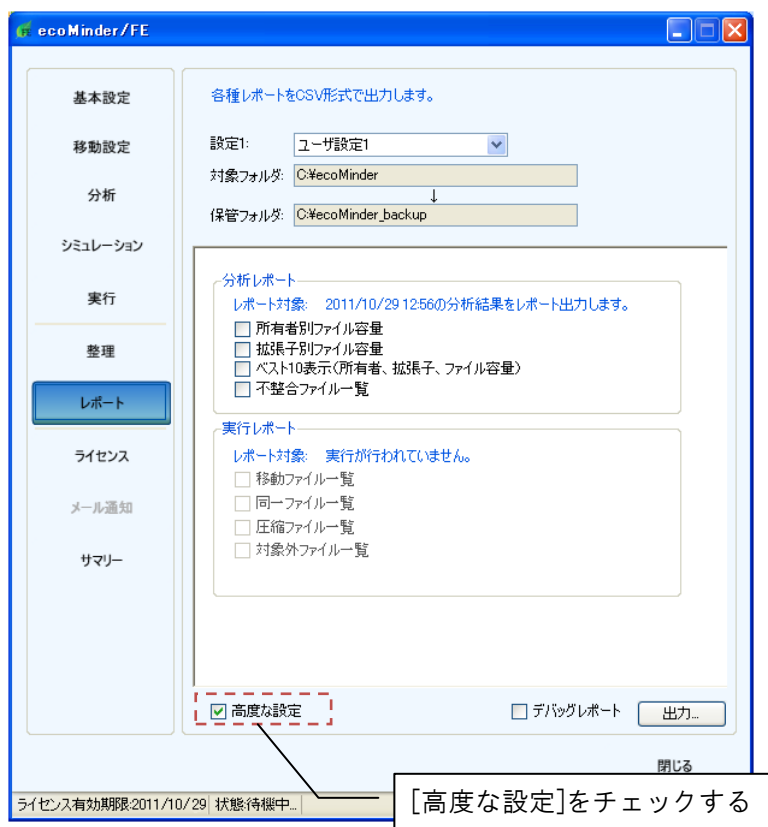
#### <注意事項>

レポートとして出力する CSV ファイルの文字コードは Unicode (UTF-8) を使用しています。Microsoft Excel で各レポートファイルを開いた場合、文字化けが発生する場合があります。この現象は Microsoft Excel の仕様に基づく制限事項です。

## 10-2. 高度な設定について

[高度な設定]をチェックすると、対象フォルダおよび保管フォルダのディスク内容を分析して各レポートを CSV ファイルの形式で出力することができます。

レポートを出力することで、対象フォルダや保管フォルダの管理のためのレポートを取得できます。



レポートの出力を行うためには、詳細ペイン左下の[高度な設定]のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。

なお、分析レポートでは分析結果にもとづき各レポートを出力し、実行レポートでは峻別の実行にもとづき各レポートを出力します。

## 10-3. 出力できるレポートについて

出力できるレポートは以下のとおりです。

## &lt;分析レポート&gt;

| レポート       | 内容                                   |
|------------|--------------------------------------|
| 所有者別ファイル容量 | ファイル所有者別のファイル容量レポートを出力します。           |
| 拡張子別ファイル容量 | 拡張子別のファイル容量レポートを出力します。               |
| ベスト10 表示   | 所有者/拡張子/ファイル容量ごとのベスト10 表示レポートを出力します。 |
| 不整合ファイル一覧  | 不整合ファイルの一覧を出力します。                    |

## &lt;実行レポート&gt;

| レポート      | 内容                    |
|-----------|-----------------------|
| 移動ファイル一覧  | 移動ファイルの一覧レポートを出力します。  |
| 圧縮ファイル一覧  | 圧縮ファイルの一覧レポートを出力します。  |
| 対象外ファイル一覧 | 対象外ファイルの一覧レポートを出力します。 |

## 10-4. レポートに出力される項目について

各レポートの出力項目は以下のとおりです。

## &lt;分析レポート&gt;

## (1) 所有者別ファイル容量

| 項目            | 表示内容  |
|---------------|---|
| 設定            | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ        | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ        | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式          | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 分析日           | 分析実行日   |
| 所有者           | ファイルの所有者  |
| 対象ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの対象ファイル総容量                                   |
| 対象ファイル数       | 所有者ごとの対象ファイル総数                                    |
| 保管ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの保管ファイル総容量                                   |
| 保管ファイル数       | 所有者ごとの保管ファイル総数                                    |
| 全体ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの全ファイル総容量                                    |
| 全体ファイル数       | 所有者ごとの全ファイル数                                      |

## (2) 拡張子別ファイル容量

| 項目            | 表示内容  |
|---------------|---|
| 設定            | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ        | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ        | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式          | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 分析日           | 分析実行日   |
| 拡張子           | ファイルの拡張子  |
| 対象ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの対象ファイル総容量                                   |
| 対象ファイル数       | 拡張子ごとの対象ファイル総数                                    |
| 保管ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの保管ファイル総容量                                   |
| 保管ファイル数       | 拡張子ごとの保管ファイル総数                                    |
| 全体ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの全ファイル総容量                                    |
| 全体ファイル数       | 拡張子ごとの全ファイル数                                      |

## (3) ベスト10 表示(所有者)

| 項目            | 表示内容  |
|---------------|---|
| 設定            | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ        | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ        | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式          | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 分析日           | 分析実行日   |
| 順位            | 1-10 位までの順位                                       |
| 所有者           | ファイルの所有者  |
| 対象ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの対象ファイル総容量                                   |
| 対象ファイル数       | 所有者ごとの対象ファイル総数                                    |
| 保管ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの保管ファイル総容量                                   |
| 保管ファイル数       | 所有者ごとの保管ファイル総数                                    |
| 全体ファイル容量 (MB) | 所有者ごとの全ファイル総容量                                    |
| 全体ファイル数       | 所有者ごとの全ファイル数                                      |

## (4) ベスト10 表示(拡張子)

| 項目            | 表示内容  |
|---------------|---|
| 設定            | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ        | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ        | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式          | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 分析日           | 分析実行日   |
| 順位            | 1-10 位までの順位                                       |
| 拡張子           | ファイルの拡張子  |
| 対象ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの対象ファイル総容量                                   |
| 対象ファイル数       | 拡張子ごとの対象ファイル総数                                    |
| 保管ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの保管ファイル総容量                                   |
| 保管ファイル数       | 拡張子ごとの保管ファイル総数                                    |
| 全体ファイル容量 (MB) | 拡張子ごとの全ファイル総容量                                    |
| 全体ファイル数       | 拡張子ごとの全ファイル数                                      |

## (5) ベスト 10 表示(ファイル容量)

| 項目          | 表示内容  |
|-------------|---|
| 設定          | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ      | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ      | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式        | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 分析日         | 分析実行日   |
| 順位          | 1-10 位までの順位                                       |
| ファイル容量 (MB) | ファイルの容量   |
| ファイル名       | パスおよびファイル名  |
| 所有者         | ファイルの所有者  |
| アクセス日       | ファイルのアクセス日  |
| 更新日         | ファイルの更新日  |
| 作成日         | ファイルの作成日  |



## (6) 不整合ファイル一覧

| 項目          | 表示内容  |
|-------------|---|
| 設定          | 指定した設定名   |
| 対象フォルダ      | 対象フォルダのパス   |
| 保管フォルダ      | 保管フォルダのパス   |
| 移動方式        | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ           |
| 分析日         | 分析実行日   |
| 不整合ファイル名    | パスおよびファイル名  |
| ファイル容量 (MB) | 不整合ファイルの容量  |
| アクセス日       | ファイルのアクセス日  |
| 更新日         | ファイルの更新日  |
| 作成日         | ファイルの作成日  |
| 所有者         | ファイルの所有者  |
| 原因コード       | 不整合ファイルの原因コード<br>・ 1: リンク切れ (リンク先のファイルなし)<br>・ 2: ショートカット無し |

## &lt;実行レポート&gt;

## (1) 移動ファイル一覧

| 項目          | 表示内容  |
|-------------|---|
| 設定          | 指定した設定名   |
| 移動方式        | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 実行日         | 移動実行日   |
| 移動元ファイル名    | パスおよびファイル名  |
| 移動先ファイル名    | パスおよびファイル名  |
| ファイル容量 (MB) | ファイルの容量   |
| アクセス日       | ファイルのアクセス日  |
| 更新日         | ファイルの更新日  |
| 作成日         | ファイルの作成日  |
| 所有者         | ファイルの所有者  |

## (2) 圧縮ファイル一覧

| 項目          | 表示内容  |
|-------------|---|
| 設定          | 指定した設定名   |
| 移動方式        | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ |
| 実行日         | 移動実行日   |
| 所有者         | ファイルの所有者  |
| 移動元ファイル名    | パスおよびファイル名  |
| 移動先ファイル名    | パスおよびファイル名  |
| ファイル容量 (MB) | ファイルの容量   |
| アクセス日       | ファイルのアクセス日  |
| 更新日         | ファイルの更新日  |
| 作成日         | ファイルの作成日  |

## (3) 対象外ファイル一覧

| 項目          | 表示内容   |
|-------------|--|
| 設定          | 指定した設定名  |
| 移動方式        | ファイルの移動方式<br>・ ショートカットを作成して、移動<br>・ コピー<br>・ 移動のみ  |
| 実行日         | 移動実行日  |
| 移動対象外ファイル名  | パスおよびファイル名   |
| ファイル容量 (MB) | ファイルの容量  |
| アクセス日       | ファイルのアクセス日   |
| 更新日         | ファイルの更新日   |
| 作成日         | ファイルの作成日   |
| 所有者         | ファイルの所有者   |
| 原因コード       | 移動対象外ファイルの原因コード<br>・ 1：システムファイル<br>・ 2：指定サイズ外ファイル<br>・ 3：指定拡張子外ファイル<br>・ 4：保管フォルダ容量エラーファイル<br>・ 5：指定日付条件外ファイル<br>・ 9：エラーファイル |

以上で、レポートは終了です。

## 11. ライセンス

### 11-1. ライセンスについて

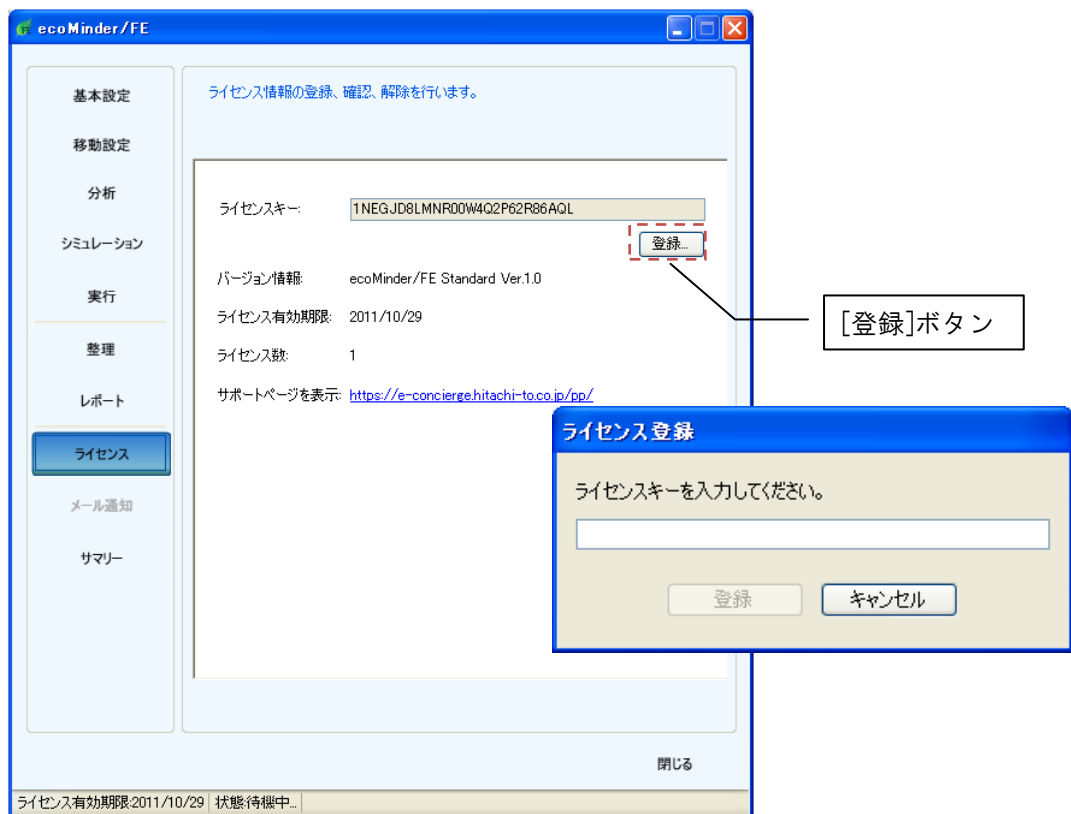
ライセンス画面では、ライセンスキーの登録や解除が行えるほか、バージョン情報、ライセンスの有効期限、ライセンス数、サポートページへのリンクなどが表示されます。

はじめてご利用になる前に、必要に応じてライセンスの登録を行い、すべての機能を使える状態にしてください。

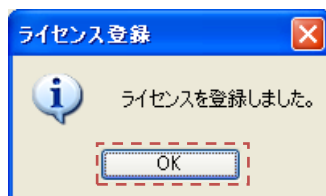


## 11-2. ライセンスの登録

ライセンスの登録を行う場合は[登録]ボタンをクリックし、ライセンス登録画面でライセンスキーを入力します。



ライセンスの登録が完了すると、下の画面が表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



以上で、ライセンスは終了です。

## 12. サマリー

サマリー画面では、ecoMinder/FE の現在の状態、分析や峻別の次回実行予定や前回実行日時、対象フォルダや保管フォルダのドライブ情報が確認できます。



以上で、サマリーは終了です。

### 13. サポートページのご案内

下記のサポートページでは、ecoMinder/FE のご利用シーンに応じた設定例などをご紹介します。

サポートページをご利用するには、ID とパスワードが必要です。

製品ご購入時に同封されている、「ご案内書」に、ID と初期パスワードが記載されておりますので、あらかじめご準備の上、アクセスをお願いいたします。

ecoMinder/FE サポートページ

<URL> <https://e-concierge.hitachi-to.co.jp/pp/>





---

ファイルサーバ データ峻別ツール

**ecoMinder/FE**

操作マニュアル

2009 年 11 月版

株式会社 日立東日本ソリューションズ

<http://www.hitachi-to.co.jp/>

---

本マニュアルを無断で複製および転載することを禁じます。